

# 会計予算 5万円を可決

会計予算をはじめ、条例改正など28議案が提出され、  
意見書は6件を可決し、国に意見書を送付しました。



開会を宣言する鹿島議長

## 平成17年度一般会計予算

### 質疑

**問** (二宮議員)

自動車事故による損害賠償の議案で、相手方の住所・氏名は報告し、当事者の氏名を伏せているのはなぜか。

**答** 個人情報という観点もあり、今後検討したい。

**問** (西山議員)

自治体における危機管理は重要な施策。行政・社会・経済的な危機管理も含め、危機の分類、類型をどのように考え、予算計上したか。

**答** 防災計画、国民保護法に基づく危機管理等も含めて、全般的な危機管理に取り組んでいる。いくことが重要と考えている。

**問** (西山議員)

事業の経済性、効果性、効率性といった行政活動評価基準は、予算書に反映されているか。

**答** 合併をして2カ月余りであり、行政評価の仕組みづくりが立ち遅れている。今後の課題と認識している。

**問** (秋田議員)

税金等の滞納徴収についての改善策は。

**答** 給与、預金等については、積極的に差し押さえしていきたい。今後の徴収体制は税に限らず、他の料金等もあわせて税務課の職員を中心に最少限の滞納にしたい。

**問** (足立議員)

新町まちづくりプランについて、大山を活かしたまちづくりの推進体制は。

**答** 計画立案や、各事業をコーディネートするために、大山振興室を設置する。

**問** (森田議員)

集落コミュニティ活動補助金1100万円の詳細は。

**答** 集落の活性化のための補助制度。一集落

に、均等割として3万円と、集落の世帯数に1200円を乗じた額の合計を補助する。区長手当もこの補助金から賄ってもらいたい。

**問** (椎木議員)

中山間地域直接支払推進事業交付金について、今年度からは、支払基準が厳しくなり、10割交付の場合と8割の場合があるが、予算は全て10割の金額で計上してあるのか。

**答** 従来のような取り組みをした場合には8割。新規のメニューを追加して行う場合は、10割の交付金が出る。事業推進のため、予算は10割交付で計上している。

**問** (諸遊議員)

大山地区芝グラウン